

発行日
平成29年1月1日

日産労連NPOセンター

ゆうらいふ21

第52号

発行人：近藤 清美 発行：日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」〒105-8523 東京都港区海岸1-4-26 TEL.03-3434-0923

第41回 2016年クリスマスチャリティー公演 最高の笑顔と感動を、日本各地でプレゼント!



11月14日(月)福島、福島県文化センターからスタートしたクリスマスチャリティー公演(演目:「王子とこじき」)は、12月21日(水)東京、府中の森芸術劇場にて千秋楽を迎え、全22公演を無事に終えることができました。

また、この公演の開催にあたり、組合員の皆さんをはじめ、友誼労組、福祉関係者、「ゆうらいふ21」の個人会員・企業のみなさまにご協力をいただきましたこと感謝申し上げます。



撮影：下坂敦俊

終演後は俳優のみなさんが、参加者のみなさんと握手でお見送り!



サンタさんとトナカイさんもどの会場でも大人気!

俳優さんとの握手や、サンタとトナカイとの記念撮影など、どの会場も笑顔でいっぱいでした!



2016チャリティー公演 公演風景

第41回チャリティー公演の様子を皆様にご紹介いたします！

8:30頃

設営班集合



器材設営・搬入

舞台監督より、注意事項等の説明があり
器材搬入と設営をすすめていきます。

9:00頃

全体実行委員会



会場準備

会場班、場外班など各班の責任者の紹介を行ない、俳優さんからも挨拶を頂きます。

そして、今日の公演を成功させるためにみんなで一つになります！
挨拶が終わると各班、会場の準備にとりかかります。



車いす講習会

公演には、車いすで参加される方も大勢います。そのため、車いす講習会を開き車いすの扱い方を学びます。



13:00
開場



いよいよ開場です。サンタとトナカイ、そして実行委員が参加者をお出迎えします！



14:00
開演



議長や来賓のご挨拶が終わると、ついに開演です！



撮影：下坂敦俊

16:10
閉演



閉演後は、俳優の皆さんが握手で皆さんをお見送りして公演が終わります。



2016年 チャリティーきゃら

11月17日の大阪公演にて、チャリティーきゃらばんが千秋楽を迎えました！
2016年には、124公演を行ない、10月18日には、きゃらばん公演3000回を達成！
今日は、3000回の公演風景と、きゃらばんの歴史を改めて皆様にご紹介いたします！！

チャリティー きゃらばんを 始めたきっかけ

1975年の日産労連創立20周年を記念して「福祉基金」が設立され、それまでの物品や金銭の援助だけではなく、いつまでも思い出に残る舞台を見てもらう招待観劇会「クリスマスチャリティー公演」がスタートしました。

しかし、様々な事情で参加したくても、参加できない子ども達がいることから、1989年に人形劇の巡回公演「チャリティーきゃらばん」をスタートさせました！

1989年に45回の公演から始まったチャリティーきゃらばんも、今では毎年120回を超える公演を行なっています。その結果、地域の新聞などに取り上げられることも多くなり、今では地域や施設にとってなくてはならない活動となっています。

また、2015年の日産労連60周年記念の際には、5つの離島（佐渡島・隠岐の島・奄美大島・五島列島・似島（広島））でもきゃらばん公演を行ない、観劇の機会の少ない子ども達にたくさんの笑顔を届けています！



奄美大島 (2015.5.13~14)



佐渡島 (2015.9.28)



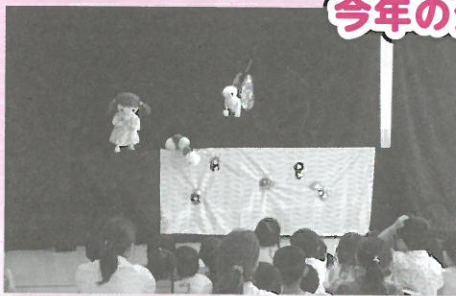
隠岐の島 (2015.10.16)

チャリティー きゃらばんの 活動のひろがり

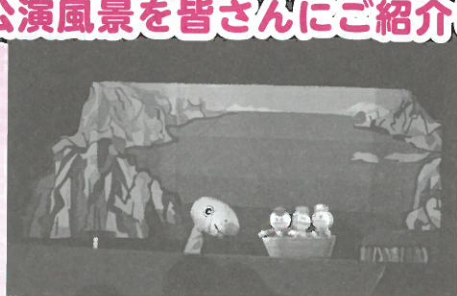
1989年の初演から、チャリティーきゃらばんを支えてきている、おはなしキャラバン「つばさ」は2016年末で、なんと約2500回を公演しています。

また、2002年には、「株式会社 劇団飛行船」と「VIVIDえんじえる」が、2004年には、「明治学院大学愛好会人形劇団ZOO」、2007年には「人形館ていー」、2011年には、「沖縄キリスト教短期大学児童文化研究サークル」など地域に根付いた人形劇団にも参加してもらい、活動の輪を広げています。

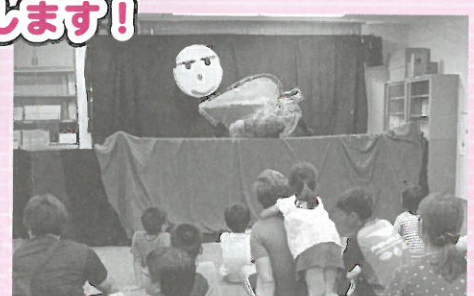
そして、2016年も、たくさんの方に笑顔をお届けできました！！
今年の公演風景を皆さんにご紹介します！



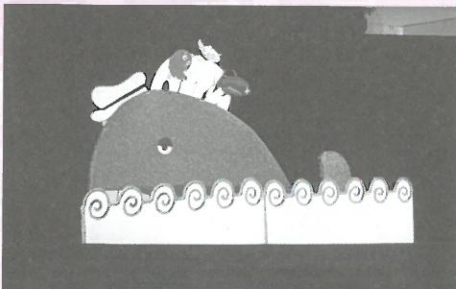
明治学院大学ZOO(東京)「ネネといも虫ジャック」



VIVID(北海道)「コッチャラ湖怪獣コッキーはいた?」



沖縄キリスト教短期大学(沖縄)「はらぺこあおむし」



キノッピー(北海道)「ひろくんのぼうげん」



人形館ていー(沖縄)「なぞなぞライオン」



劇団飛行船「ヘンゼルとグレーテル」

ばん

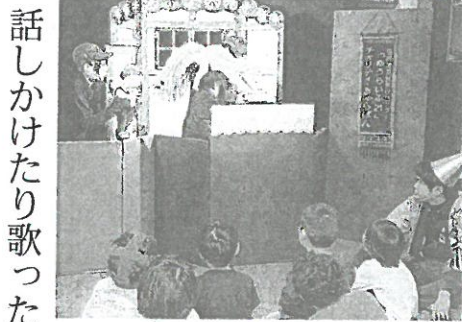
全公演終了!!



3000回公演が、朝日新聞社と山陰中央新報に掲載されました!!

山陰中央新報 朝刊 2016年10月21日付

人形劇に子ども笑顔



人形劇に見入る子どもたち

話しかけたり歌ったり

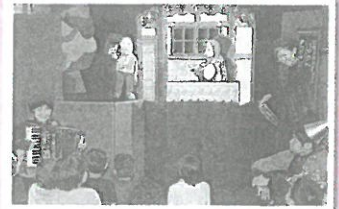
日産労連と同NPOセンター「ゆうらいふ21」が主催する無料巡回人形劇「チャリティーきゃらばん」の楽しいひとときを過ごした上。参加型の劇で、客席

た。チャリティーきゃらばんは、精神や身体に障害のある人など、劇場に足を運ぶことが難しい人にも文化芸術に触れてもらおうと、1989年に開始。公演にかかる費用は日産自動車や販売部品メーカーなどの組合員が毎月、拠出金100円を出してまかなっている。これまで県内では50回公演している。

3千回目の公演は、チャリティーきゃらばんを支える劇団の一つで、大阪府に拠点を置くNPO法人おはなしキャラバン「つばさ」(立花由美子理事長)が、チェコ民話を基にアレンジした「ホンザときつね」を上演。参加型の劇で、客席

(河野亜美)

朝日新聞 朝刊 島根地域面 2016年10月22日付



芸術に触れよう 子に無料人形劇

全国巡回松江で3000回目 日産労連の「チャリティーきゃらばん」3千回目の公演が松江市で18日であった。障害などのために芸術に触れる機会が少ない全国の子どもに無料の人形劇を1989年から届けてきた。

放課後等デイサービスえすばす(西川津町)に小学生ら16人が集まり、大阪府泉大津市の「おはなしキャラバン、つばさ」が人形劇を披露した。ホンザという男の子が森へ行き、きつねと遊ぶ物語「ホンザときつね」。劇団員と子どもは一緒に歌ったり、手拍子を打ったりしながら楽しんだ。小学2年の女の子(8)は「きつねのお母さんがヒューと飛んだのがおもしろかった」と笑顔だった。きつねのお母さんを演じたのはこのきつね理事長(62)は、このきつねで約2500回の公演に立った。「子どもたちの声を取り入れて劇をつくりたい。これからも、もっともっと笑顔が見たい」と話した。(内田快)

3000回公演を迎えて...

「ゆうらいふ21」高倉理事長より

チャリティーきゃらばんは1989年2月14日、高槻養護学校(大阪)の公演から始まりました。その後、訪問型観劇会の機動性を活かして全国各地へ出かけ、今年10月18日の島根県「えすばす」の公演で3,000回の節目を迎える事となりました。この間多くの皆さんの協力により多くの笑顔を届ける事が出来たものと思っています。そして応援して頂いた皆さんに改めて感謝致します。



参加者からお礼のお便りも続々と届いています!!



3000回公演の様子は次頁にてご紹介!!

チャリティー きやらばん 祝 3000回公演

～ 10月18日

▼3000回の公演施設は、放課後ディサービス「えすばす」さんで行ないました！



▼ポスターを掲示して、公演日を待って来ていました!!

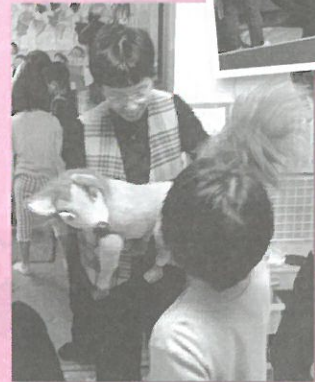


▲人形劇が今まで開催できなかった理由は、会場の狭さでした。約8畳の部屋しか演劇スペースがありません。しかし、つばさの皆さんは、この広さに合わせて舞台を設営していきます。

▼エスパスの職員のみなさん！人形劇の開催は初めての試みで、「とても楽しみにしていました」とお声掛けいただきました。



▼チャリティーきやらばんと言えば、道具リレー運び。出際よく、荷物を運びだして設営していきます。



▼公演中は、みんな劇に夢中。最後はお人形さんも一緒にお見送り。



観劇する機会が少ない子ども達にとって、チャリティーきやらばんはとても喜ばれます。

会場が狭くても、遠くであっても、観劇に触れる機会がない子ども達の所に、これからも人形劇を届けていきます！

の様子をご紹介!!

in 島根 ~

- ▼ 3000回のチャリティーきゃらばんをお手伝いいただいた、実行委員のみなさん！
みなさんから、3000回公演の感想を頂きました！



- ▲ 1989年の公演から始まったチャリティーきゃらばんを27年間支えてくれている、おはなしキャラバン“つばさ”のみなさん！
3000回公演のうちなんと、約2500回を行なっています!!

《実行委員さんの声》

和田さん：楽しくできました！

広江さん：記念となる公演に参加できてよかったです！

矢田さん：記念公演のお手伝いができ最高でした！

宮尾さん：とても楽しかったです！ご縁があればまたお手伝いしたいです！

清山さん：「つばさ」のみなさん、本当にありがとうございました。本物の人形劇は感動しました。私達が、これからも支えていきます。子ども達の笑顔がすべての気持ちだと思います。

久保田さん：子ども達の心の純粋さに心を打たれました。微力ではありましたが、力になれたのであれば幸いです。

高塚さん：利用者さんや子ども達がとても喜んでいたので、参加してとても良かったと感じました。

澤田さん(実行委員長)：来年もよろしく!!



- ▲ 劇団のみなさん、実行委員のみなさんと全員で、3000回公演を無事成功させることができました!!
チャリティーきゃらばんは、4000回を目指してこれからも走り続けます!!



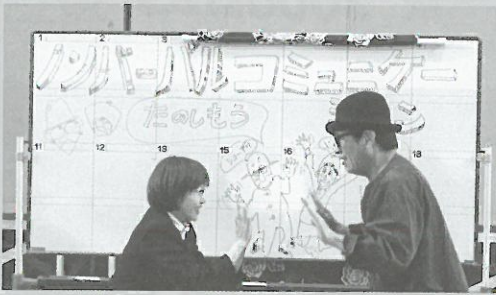
2016 ノンバーバルコミュニケーション 活動報告

ワークショップ in ふくしま

2016年11月26日～11月27日

東日本大震災後の厳しい状況が続いている福島県内の養護学校において、ワークショップを通じ、地域の中で支え合うつながりを強くすることを目的にノンバーバルワークショップを開催しました。

今回は同じ被災地である宮城県施設にも訪問し、開催地域の拡大を図り、より充実した福祉活動を目指しました。



ミラーリング（相手と同じポーズをとるワークショップ）

会場

11月26日(土)

- 福島市立養護学校（福島県福島市） 10:00～11:00
- 社会福祉法人あぶくま福祉会 だての郷（福島県伊達市） 14:00～15:00

11月27日(日)

- 白石陽光園（宮城県白石市） 10:00～11:00
- 指導者向けワークショップ 11:10～12:10
- 白石陽光園（ // ） 13:00～14:00



エアロープ跳び▲



▲楽器を使ったリズミカルなダンス



早着替え▶



▲輪になって行進

《実行委員のみなさまからの感想》

- ★ノンバーバル（非言語）でコミュニケーションがとれる事を体験し人生の役に立つ気がしました。特に表情は大切だと感じました。
- ★参加者の笑顔が印象的で参加できて本当に良かったです。
- ★普段、接することがない障がい者の方達とのイベントだったので、とてもいい経験になりました。
- ★参加者の皆さんが笑顔で喜んでくれたことが一番印象に残っています。沢山の笑顔と触れ合いの中から様々な事を学びました！



◀笑いオーケストラ（笑いを隣の人に伝えていくワークショップ）

* 指導者向けワークショップを行ないました *

実行委員や施設の職員の方を対象とした、指導者向けワークショップを行ないました。様々な立場、年齢の方々が参加し、ファシリテーターによって参加者の個性が引き出され、多様な表現方法が生まれ、言葉に頼らなくても、相手の個性を理解して相手と向き合えばコミュニケーションが図れることを学びました。

● ご意見・お問い合わせ ●

日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」事務局
〒105-8523 東京都港区海岸1-4-26

TEL 03-3434-0923

FAX 03-3459-6319

メールアドレス u-life21@ngu.or.jp

ホームページ http://www.u-life21.or.jp

会員継続のお願い

および 新規入会募集中

「ゆうらいふ21」の活動を応援していただける、企業・団体・個人会員のみさなんに、ご協力をお願いしています。入会のお問い合わせは「ゆうらいふ21」事務局までお願いします。